

「気象の不思議」学ぶ

探究心養い夢実現を

かしま子ども大学

鹿嶋市の子どもたちに探究心を養ってもらい、将来の夢実現に役立ててもらおうと「かしま子ども大学」が9日、同市宮中の市まちづくり市民センターで開講した。各講座には行政や市民、企業、教育機関が協力。約5カ月間にわたり、子どもたちの知的好奇心を刺激する体験型講座7回が開かれる予定。

同大学は2019年に始まり、コロナ禍で開講しなかった20年を除き、今回で3回目。市内の小学校に通う小学5、6年生が対象で、今期は8校の児童計24人が受講する。

学長を務める川村等教育長は「講座では学校で学べないさまざまな分野を学べると思う」とあいさつ。同席した保護者には、子どもの好奇心を引き出すため「家庭でも話題にしてほし

い」と呼びかけた。

この日は、市内外で出前授業を実施する「気象コンパス」の古川武彦さんが「気象の不思議さを体験しよう！」と題して講義。「気圧は向きに関係なく、面に対して直角に作用する」実際の静止衛星は（地球の自転に合わせて）高速で動いているので、止まっているように見える」など、気象の仕組みや人工衛星に関するさまざまな知識を紹介した。

子どもたちは、ペットボトルの中で雲を作ったり、コップを逆さまにして気圧を確認したりする実験にも挑戦。また、本物の雨量計や風速計にも触れ、気象に関する理解を深めた。

鹿島小6年、武田権君(11)は「空気にも重さがあるのに、気圧があるから重



ペットボトルの中に雲を発生させる実験に取り組む子どもたち＝鹿嶋市宮中

て面白かった」と笑顔を見せた。

講座は今後、「1日茨城大生体験」「学校の建築現

定。(大平賢二)

力発電所を見てみよう」など、官民さまざまな団体、企業の協力で実施される予定。